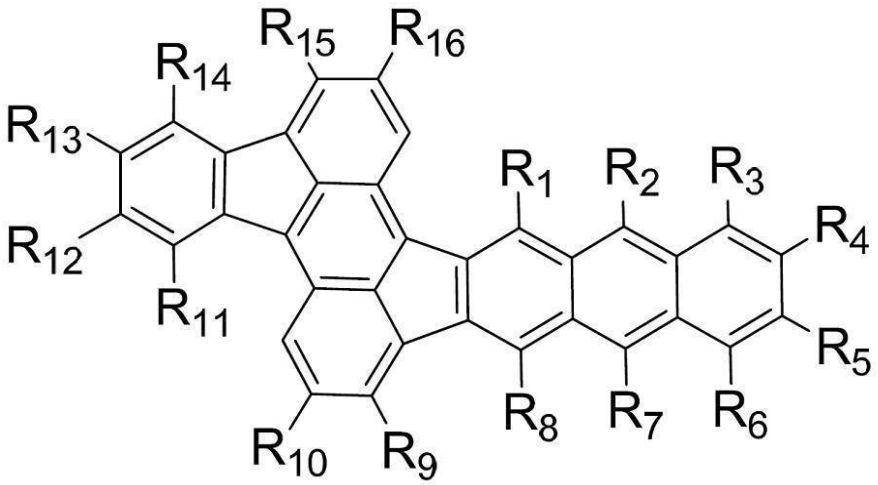
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公開番号】特開2012-188355(P2012-188355A)
【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)
【年通号数】公開・登録公報2012-040
【出願番号】特願2011-50496(P2011-50496)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　13/62　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　13/62　ＣＳＰ
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ｂ
Ｈ０５Ｂ　33/22　Ｂ
Ｈ０５Ｂ　33/22　Ｄ
Ｃ０９Ｋ　11/06　６１０

【手続補正書】
【提出日】平成26年2月24日(2014.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（１）で示されることを特徴とする有機化合物。
【化１】



（１）

式（１）において、R_1乃至R_{16}は水素原子、ハロゲン原子、置換あるいは無置換のアルキル基、置換あるいは無置換のアルコキシ基、置換あるいは無置換のアミノ基、置換あるいは無置換のアリール基、置換あるいは無置換の複素環基からそれぞれ独立に選ばれる。
【請求項２】
R_1乃至R_{16}はそれぞれ独立に前記水素原子、前記置換あるいは無置換のアルキル基

、前記置換あるいは無置換のアリール基から選ばれることを特徴とする請求項１に記載の有機化合物。
【請求項３】
R_1、R_2、R_7、R_8、R_{11}、R_{14}はそれぞれ独立に前記水素原子、前記置換あるいは無置換のアルキル基、前記置換あるいは無置換のアリール基から選ばれ、
R_3乃至R_6およびR_9乃至R_{10}およびR_{12}乃至R_{13}およびR_{15}乃至R_{16}は全て水素原子であることを特徴とする請求項１に記載の有機化合物。
【請求項４】
R_1、R_2、R_7、R_8はそれぞれ独立に水素原子またはフェニル基から選ばれ、R_3乃至R_6およびR_9乃至R_{16}は全て水素原子であることを特徴とする請求項１に記載の有機化合物。
【請求項５】
一対の電極と前記一対の電極の間に配置された有機化合物層とを有する有機発光素子であって、
前記有機化合物層は請求項１乃至４のいずれか一項に記載の有機化合物を有することを特徴とする有機発光素子。
【請求項６】
前記有機化合物層は発光層であることを特徴とする請求項５に記載の有機発光素子。
【請求項７】
赤色発光することを特徴とする請求項６に記載の有機発光素子。
【請求項８】
複数の画素を有し、前記複数の画素は請求項５乃至７記載のいずれか一項に記載の有機発光素子と前記有機発光素子の発光輝度を制御するＴＦＴ素子をそれぞれ有することを特徴とする表示装置。
【請求項９】
画像情報を入力するための入力部と画像を表示するための表示部とを有し、前記表示部は複数の画素を有し、前記複数の画素は請求項５乃至７のいずれか一項に記載の有機発光素子と前記有機発光素子の発光輝度を制御するＴＦＴ素子をそれぞれ有することを特徴とする画像入力装置。
【請求項１０】
請求項５乃至７のいずれか一項に記載の有機発光素子を有することを特徴とする照明装置。
【請求項１１】
露光光源を有する電子写真方式の画像形成装置であって、
前記露光光源は、請求項５乃至７のいずれか一項に記載の有機発光素子を有することを特徴とする画像形成装置。